教育のぼりべつ

令和４年
10月1日
No.35

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目33番地

宿泊学習「リバートレッキング」体験
川の水　ひんやり　気持ちいい！

７月２１日（木）・２２日（金）ネイチャーセンターふぉれすと鉱山で幌別小学校の宿泊学習が実施されました。午前は、施設周辺の散策路でネイチャーウォークラリーを楽しみながら鉱山町の自然や歴史に触れました。午後は、「本気のリバートレッキング」「やさしいリバートレッキング」「水中昆虫さがし」のテーマ別３コースに分かれて、自然体験学習を行いました。本気のリバートレッキングでは、ライフジャケットとヘルメットを身に付け、施設近くを流れる幌別川に入り、流れに身を任せ自然を満喫し楽しい体験となりました。市内小学校の宿泊研修は、９月までに全校で実施されました。











３年ぶりに開催「姉妹都市交流事業」
「ふるさと豆記者訪問団」若草小学校訪問

７月２６日（火）～２７日（水）に白石市・海老名市との姉妹都市交流事業が３年ぶりに再開し、今年は登別市で開催されました。３市の交流は、児童が歴史的にゆかりのある相互の町を理解し、併せて学校間の交流を推進し、友好を深めるために平成 29 年から行われています。26 日は、登別市の郷土資料館などを見学し、２７日は、若草小学校を訪問し交流会を行いました。交流会では、グループ毎に自己紹介し、その後、各市の人口や特産品、学校の催しなどをスライド等で紹介し、互いの市と学校について理解を深めました。







「絆を深めた体育大会」

７月１５日（金）、「Power of smile(笑顔の力)」をスローガンに、西陵中学校で体育大会が開催されました。３年生がリーダーとなり「赤・青・黄」縦割り３チームで競い合いました。１００M走の他、全員リレーや長縄跳び、小学校の運動会種目である渦潮走、綱引きなどで大いに盛り上がりました。市内の中学校の体育大会は、雨天で延期となった幌別中学校を除いたすべての中学校で実施されました。



３チーム対抗の全員リレー



３チーム対抗の長縄跳び

「世代間交流会」が３年ぶりに開催されました!!

登別市教育委員会では、市内の小学校（今年度は７小学校）において、地域ボランティアの皆さんの豊かな知識や経験を活かした「昔遊び」の体験による交流活動等を通して、子どもたちの豊かな人間性を育成することをねらいとして、登別市地域学校協働本部実行委員会が主催する「世代間交流事業」を実施しています。

７月１３日(水)、富岸小学校１年生を対象に開催した「世代間交流会」では、自分達の地域に住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんから、あやとりやお手玉、けん玉、竹馬などの「昔遊び」を教えていただき、楽しい一時を過ごしていました。どの子も、笑顔でいろいろな昔遊びに夢中になって取り組み、とても貴重な体験となりました。



竹馬を教えてもらう子どもたち



けん玉で遊ぶ子どもたち

「タブレット活用研修」

一人一台端末（タブレット）が本格導入されて２年目となり、市内各小中学校でも日常の授業において活用を進めています。登別市教育委員会では、今年度の教育行政施行方針に示した通り、学校や家庭においてオンライン上で学習できる「文部科学省ＣＢＴシステムMEXCBT（メグビット）」を導入しました。

各学校では、このオンライン学習システムを利用するために教職員の研修会が開かれています。家庭での個別学習・朝自習・学級閉鎖中のタブレット学習など、いろいろな場面で教材として活用し、子どもたちのよりよい学びにつなげていけるよう、日々研鑽を重ねています。



幌別西小学校でのタブレット活用研修会の様子

登別市「こども 110 番スタディちゃんの家」駆け込み訓練の開催（登別小学校区）

８月２７日（土）登別小学校区で「こども１１０番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者に遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を行いました。登別市で初めての実施です。当日は、登別小学校３年生児童２４名と避難先「スタディちゃんの家」登録者、警察、町内会長に協力をいただきました。

子どもたちは、青少年センターの職員より事前説明（全体の流れ、いかのおすし、不審者役について）を聞き、いざという時に防犯ブザーを使用できるか、大きな声を出せるか練習をしました。また、声を掛けてきた不審者について「いつ、どこで、何があったか、どんな人だったか」などの特徴を覚えておきましょうと説明を受け、４～５名のグループに分かれ学校をスタートしました。

子どもたちは不審者から「何年生？名前は？」「うちにお菓子があるから遊びに来ない？」といろいろと声を掛けられましたが、防犯ブザーを鳴らし「助けて！」と叫びながら「スタディちゃんの家」に向かって走り避難。「スタディちゃんの家」登録者が子どもたちを保護し、被害状況などを聴取して警察へ通報、通報を受けた警察官に子どもたちを引き渡すとともに、聴き取り内容を報告するまでの訓練を行いました。



説明をしっかり聞き出発



不審者に声を掛けられる子どもたち



子どもたちの被害状況を聞く



警察から総評「相手と距離をとること」